



有限会社青谷建設

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間 2023 年7月1日～ 2024 年6月30日)



発行日： 2024年8月31日
発行責任者： 青谷 さち子

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	3
組織の概要 認証・登録の対象組織・活動	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
社会貢献活動の紹介	11

有限会社 青谷建設

環境経営方針

＜環境経営理念＞

当社は、滋賀県の湖西高島地域を中心とした土木工事・造園工事・舗装工事・水道施設工事の事業を行っています。この事業活動における環境への影響を理解し、環境経営を優先課題と位置づけて、従業員と協力し、EA21環境経営システムを構築運用し、継続的改善と汚染の予防に努め、以下の事項について自主的、積極的に取り組みます。

＜環境保全への行動指針＞

- 1 . 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2 . 事務所での電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO₂の排出量を削減します。
- 3 . 建設現場の廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。
- 4 . 建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。
- 5 . 環境に配慮した施工を推進します。
- 6 . エコフオスター活動の社会貢献を推進します。
- 7 . この環境経営方針は全従業員に周知、徹底します。

制定日：2011年12月1日

改定日：2019年7月1日

代表取締役社長 青谷 清春

□組織の概要

更新日：2023年8月31日

(1) 名称及び代表者名

有限会社青谷建設

代表取締役社長 青谷 清春

(2) 所在地

本社 〒520-1655 滋賀県高島市今津町日置前1429-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 青谷さち子 TEL：0740-22-1114

連絡担当者 青谷さち子 TEL：0740-22-1114 FAX：0740-22-3437

(4) 事業内容

土木工事・とび・土工工事・造園工事・舗装工事・水道施設工事・解体工事

(5) 事業の規模

売上高 22.3 百万円 (2023年度)

従業員数	3名
事務所床面積	30m ²
倉庫床面積	60m ²
駐車場面積	350m ²
資機材置場面積	500m ²
認証・登録	認証番号：0008687

(6) 事業年度

7月1日～6月30日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：有限会社青谷建設

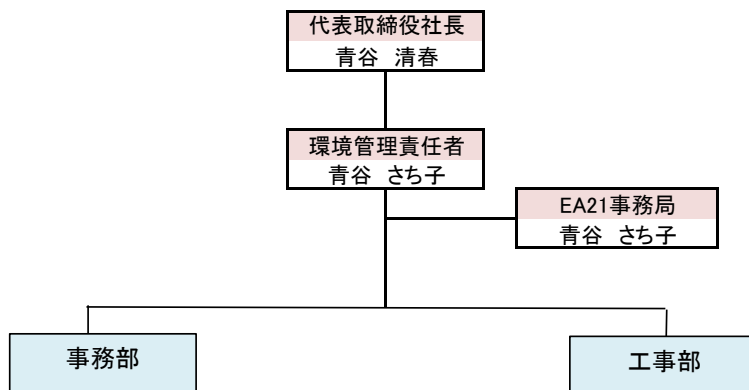
対象事業所：本社 (事務所・倉庫・駐車場)

対象外：なし

活動：土木工事・とび・土工工事・造園工事・舗装工事・水道施設工事・解体工事

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2020年9月1日



役割、責任及び権限一覧

代表取締役	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。 ②環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。) ③環境管理責任者を任命する。 ④ 経営における課題とチャンスの明確化 ⑤環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。 ⑥代表者による全体の評価と見直し・指示を実施する。
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。 ②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。 ③法規制等の遵守状況をチェックする。 ④環境方針及び目標チェック等に基づき環境目標を設定し、作成された環境活動計画を確認し承認する。 ⑤環境活動の取組状況を確認し、環境目標の達成状況を評価する。 ⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。 ⑦環境活動の取組結果を代表者へ報告する。 ⑧EA21に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部門長及び 工事現場代理人	①責任範囲の環境目標及び環境活動計画の実施とEA21事務局への達成状況の報告。 ②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
EA21事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。 ②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。 ③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。 ④環境活動計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。 ⑤文書及び記録の管理保管。 ⑥外部コミュニケーションの窓口。 ⑦内部コミュニケーションの運営管理。 ⑧従業員に対する教育訓練の実施。 ⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	15,095	12,878	9,254
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン	0.014	0.012	0.008
産業廃棄物排出量	トン	975.0	61.9	25.3
総排水量	m ³	244	232	263

※二酸化炭素排出係数 0.334 kg-CO₂/kWh 2018年度、関西電力の調整後の係数

※負荷の実績は工事現場を含む

□環境経営目標及びその実績

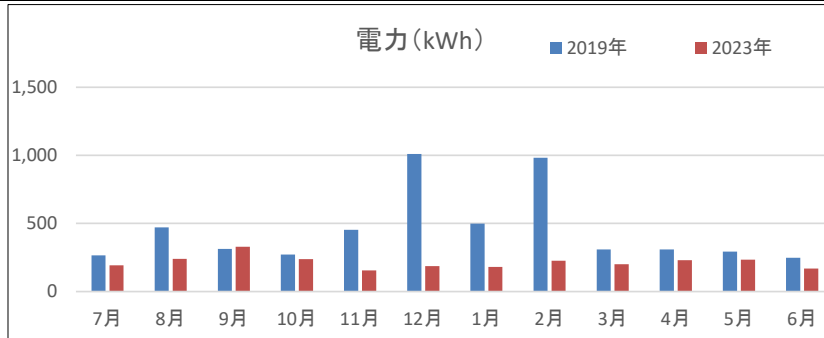
年 度 項 目		2019年	2023年		評 価	2024年	2025年
		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	1,942	1,826	863	○	1,806	1,787
	基準年度比		94%	44%		93%	92%
原単位	kg-CO ₂ /千円					0.023	0.023
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	4,141	3,892	2,146	○	3,851	3,810
	基準年度比		94%	52%		93%	92%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	9,566	8,992	5,848	○	8,896	8,801
	基準年度比		94%	61%		93%	92%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	15,649	14,710	8,858	○	14,553	14,397
一般廃棄物の削減	トン	0.014	0.013	0.008	○	0	0
	基準年度比		95%	60%		95%	94%
産業廃棄物の削減	トン	980	921	25.3	○	901	891
	基準年度比		94%	3%		92%	91%
建設副産物の再資源化率の向上	%	98%	92%	100%	○	92%	92%
水道水の削減	m ³	244	229	263	×	227	224
	基準年度比		94%	108%		93%	92%
化学物質の適正管理	kg	0	0	0	—	0	0
				使用実績なし		適正管理	適正管理
	基準年度比						
環境に配慮した工事の推進	行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

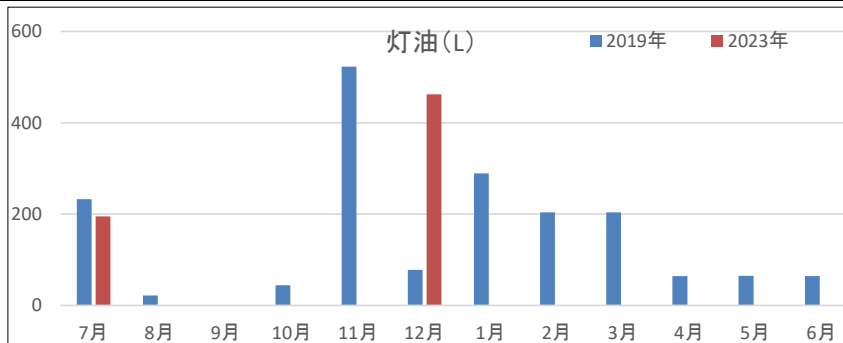
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	・今期工事現場の電気使用量がなかったことが大幅な削減となった。しかし、温度管理や不要照明の消灯は徹底できた。次年度も継続して取り組んでいく
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・働き方見直しによる残業時間の短縮	○	



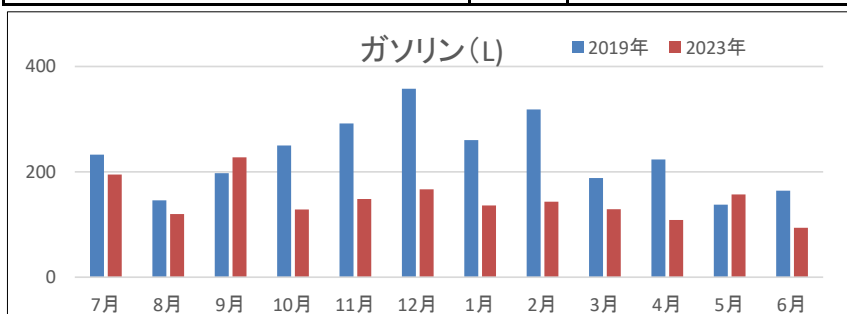
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2019年	266	471	313	272	454	1,010	498	982	309	309	294	248
2023年	193	240	330	239	155	186	182	226	200	230	234	170

灯油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	給湯関係をLPGに変更したことにより、事務室の暖房のみとなったため、灯油の使用量は大幅に低減した。結果として48%の削減となった。次年度も温度管理を適切に実施する。
・暖房温度の適正化(20℃)	○	
・不要時の暖房断	○	
・給湯温度を上げすぎない	○	

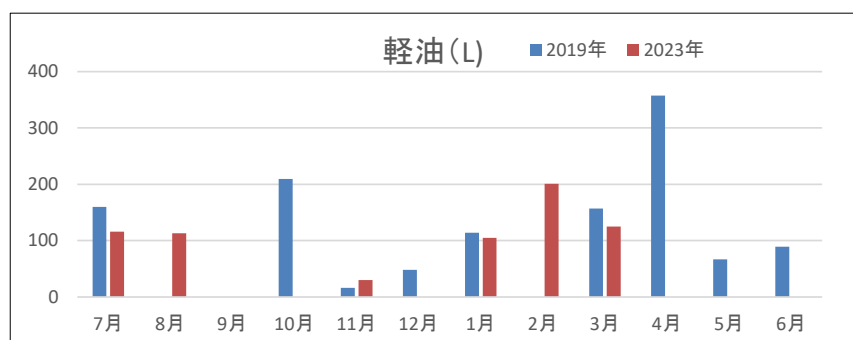


	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2019年	233	22	0	44	523	78	289	204	204	64	65	64
2023年	195	0	0	0	0	462	0	0	0	0	0	0

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	仕事量は増えてはいないが、建設現場が遠かったり、下請けの仕事の比率が上がったことと、降雪量が多かった影響で除雪作業が多くなり、2019年度の3%の削減に留まった。次年度もアイドリングストップなど取り組む。
・アイドリングストップ	○	
・最短経路での走行徹底	○	
・乗り合い乗車の強化	○	

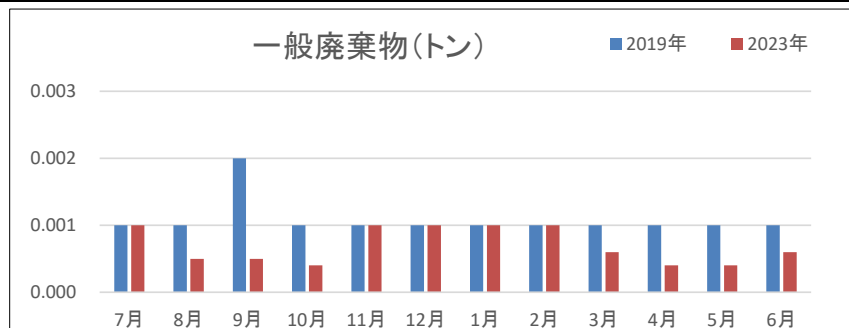


	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2019年	233	146	198	250	292	358	260	319	188	224	138	164
2023年	195	120	228	129	148	167	136	143	129	108	157	94



	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2019年	160	0	0	210	16	48	114	0	157	358	67	89
2023年	116	113	0	0	30	0	105	201	125	0	0	0

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	余分な購入をできるだけしないことと、分別は徹底してできている。
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・ペーパーレスによる印刷物の削減	○	



	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2019年	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
2023年	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.000	0.001

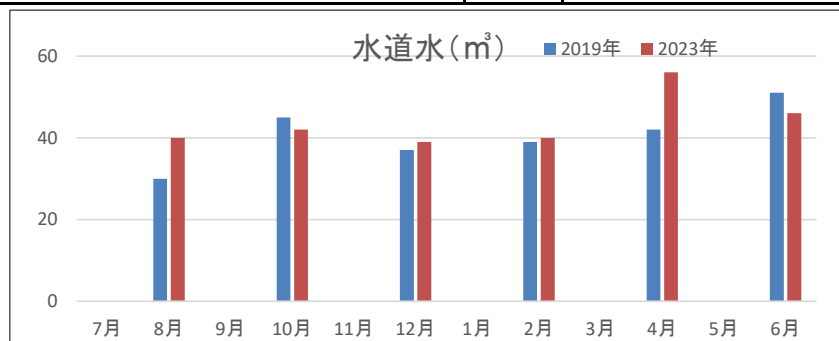
産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	分別は徹底して実施できている。資源再生利用に努めることが出来た。リサイクル率100%を達成できた。次年度も分別の徹底を実施する。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・リサイクル業者の選定	○	
・第三者災害の防止（法定速度厳守）	○	



	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2019年	0.0	921.3	0.7	0.0	0.0	39.7	8.8	3.5	0.0	0.0	4.7	0.0
2023年	25.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	期間中の産業廃棄物はコンクリート塊、As・Co塊のみで、100%再資源化できた。
・分別の徹底	○	

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	年間を通じて、節水に努める行動はできた。しかしながら6%削減目標で5%削減と僅かに目標値をクリアできなかった。次年度は作業ごとに注意して節水に努める。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	△	
・節水弁取り付け	×	
・自動水栓取り付け	×	



	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2019年	0	30	0	45	0	37	0	39	0	42	0	51
2023年	0	40	0	42	0	39	0	40	0	56	0	46

化学物質の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		使用実績なし
・有害性物質の表示の徹底		
・作業ミスによる使用量増加の抑制		
・発注量の適正化		

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・低騒音型・環境対策型機械の導入	○	全ての工事で環境に配慮した工事を実施できた。苦情や要望も全くなかった。
・汚濁防止フェンスの設置	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出
建設リサイクル法	建設副産物の管理、排出
建設副産物適正処理推進要綱	建設資材を搬入または排出する建設現場に対し、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促計画書」の提出
建設機械に関する技術指針排出ガス対策型建設機械指定制度	対象機械の使用と公共事業時の届出
資源有効利用促進法	建設工事の発注者は、その事業発注に際して、原材料等の再生資源・再生部品を利用するように努める
騒音規制法	対象特定施設の届出、規制値の遵守
振動規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の点検・記録
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2024年4月10日	■実施場所
■参加者： 青谷清春、梅村光一、青谷さち子	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 緊急時の持ち出し器具確認や体制の確認	手順書の変更の必要 ☐ あり ☒ なし
自然災害や火災時の消火器配置場所の確認や災害発生時の持ち出し品について確認を実施した。持ち出し動作も含めて確認。保管場所をより持ち出し易い所に格納や不足のものの拡充して、緊急時に備えて行きたい。	
■実施状況の様子  	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年8月31日

2023年度の二酸化炭素排出量は2019年度から約40%の削減となった。工事が減少した影響もあるが、電気使用量の大幅な削減が寄与しました。着実に省エネや節電行動ができてきていると評価したい。また、工事現場の軽油等化石燃料の使用量は工事内容、下請け・元請けにより変動が大きい、アイドリングストップ等省エネ行動に努めている。環境に配慮した工事も常に心がけているところであり、苦情等はなかった。次年度以降も公共事業の受注状況により変動が大きいと思われるが、従業員とコミュニケーションを図り無駄な電力・軽油・ガソリン等の日常の活動を通じて、継続して次年度も削減に努めていきます。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

□社会貢献活動の紹介



琵琶湖湖岸清掃(環境美化活動)



琵琶湖湖岸清掃(環境美化活動)



エコフォスターによるゴミ、雑草清掃作業(月1回)



令和5年度勤務時間外大規模地震初動活動訓練
(新旭町木津交差点付近)